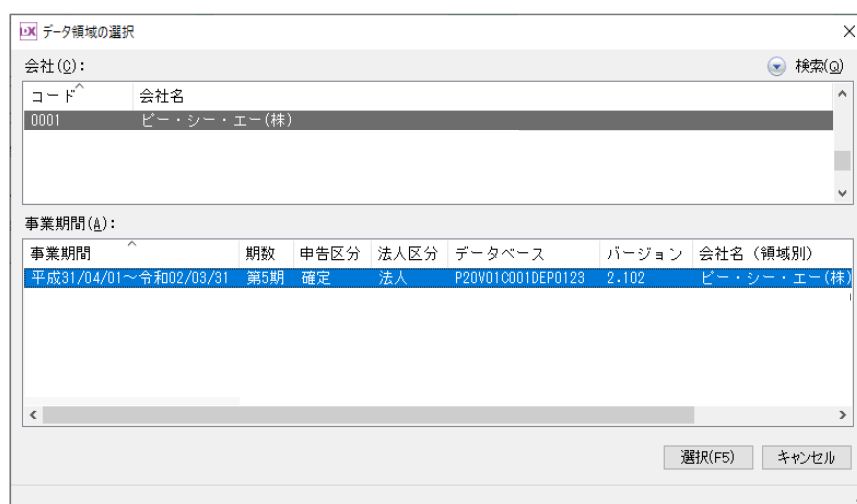


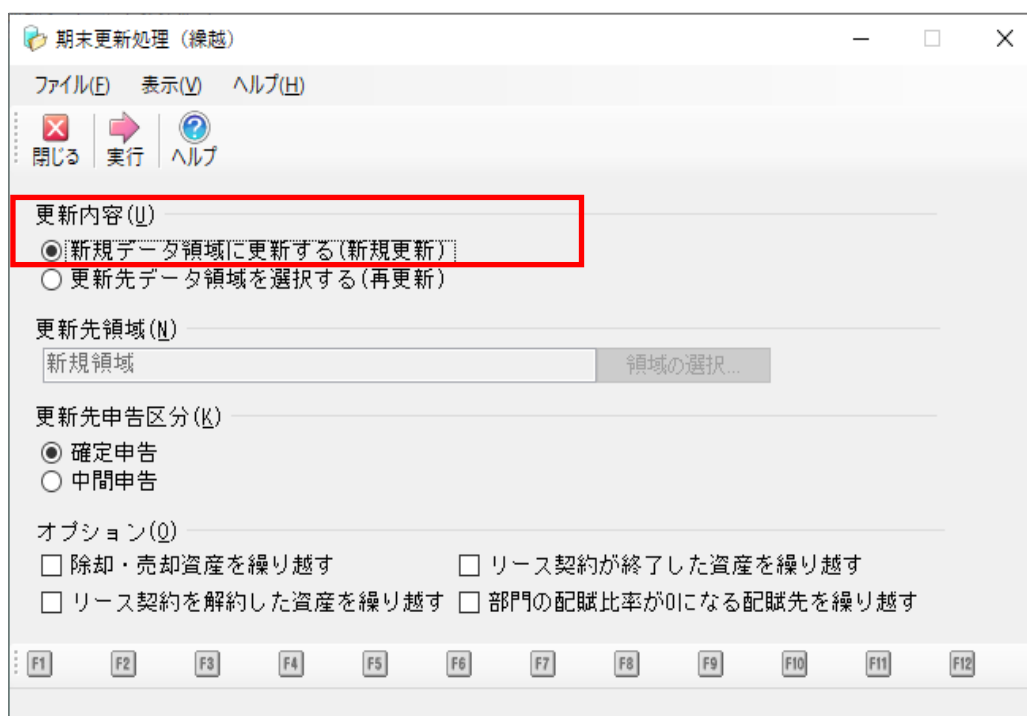
◆ 期末更新処理（新規更新）の操作手順

（画面例はすべて『PCA 固定資産 DX 』を使用しています）

- ① 作業中のトラブルに備え、「ファイル」－「データ領域のバックアップ」（または「データ領域の一括バックアップ」）にて前年度のバックアップを実行します。
（例：ピー・シー・エー(株) 第5期のバックアップを実行します。）
- ② メニューの「ファイル」－「データ領域の選択」を選び、前年度を選択して[選択]を押します。（例：ピー・シー・エー(株) 平成 31/04/01～令和 02/03/31 第5期を選択します。）



- ③ メニューの「ファイル」－「期末更新処理（繰越）」を実行し、[新規データ領域に更新する（新規更新）]を選択します。



④ 更新先申告区分を [確定申告] [中間申告] から選択します。

⑤ オプションの設定を行います。

・ [除却・売却資産を繰り越す]：除却・売却資産についても繰り越します。

※償却資産税対象且つ、翌年度申告対象となる資産の場合、チェックの有無に関わらず自動で翌年度に繰越されます。

・ [リース契約が終了した資産を繰り越す]：リース契約終了年月日が当期終了日以前のものを繰り越す場合を選択します。

・ [リース契約を解約した資産を繰り越す]：リース解約年月日が当期終了日以前のものを繰り越す場合を選択します。

・ [部門の配賦比率が0になる配賦先を繰り越す]：期末時点の配賦比率が0かつ端数計上先になっていない配賦先についても繰り越しをする場合を選択します。

期末更新処理 (繰越)

ファイル(F) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 実行 ヘルプ

更新内容(U)

新規データ領域に更新する(新規更新)

更新先データ領域を選択する(再更新)

更新先領域(N)

新規領域 領域の選択...

更新先申告区分(K)

確定申告

中間申告

オプション(O)

除却・売却資産を繰り越す リース契約が終了した資産を繰り越す

リース契約を解約した資産を繰り越す 部門の配賦比率が0になる配賦先を繰り越す

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

⑥ ツールバーの [実行] ボタンをクリックします。

期末更新処理 (繰越)

ファイル(F) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 実行 ヘルプ

更新内容(U)

新規データ領域に更新する(新規更新)

更新先データ領域を選択する(再更新)

更新先領域(N)

新規領域 領域の選択...

更新先申告区分(K)

確定申告

中間申告

オプション(O)

除却・売却資産を繰り越す リース契約が終了した資産を繰り越す


リース契約を解約した資産を繰り越す 部門の配賦比率が0になる配賦先を繰り越す

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

- ⑦ 確認画面が表示されます。内容を確認し問題なければ [OK] をクリックします。

期末更新処理		×
更新内容	新規更新 (確定)	
更新元情報	P20V01C001DEP0123 0001 ピー・シー・エー(株) 第5期 事業期間 平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日	
更新先情報	新規領域	
上記の内容で更新します。よろしいですか？		
		OK(F5) キャンセル

- ⑧ 期末更新処理完了の画面が表示されます。
更新先のデータ領域に移動する場合は、[はい] を選択します。

期末更新処理 (繰越)		×
	期末更新処理が完了しました。 更新先のデータ領域に移動しますか？	
更新先領域	P20V01C001DEP0124	
会社コード	0001	
会社名	ピー・シー・エー(株)	
事業期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日	
		<input checked="" type="button" value="(はい)Y"/> <input type="button" value="(いいえ)N"/>

◆ 期末更新処理（再更新）の操作手順

■ 「繰越処理（新規繰越）」を実行した後、前年度のデータが変更された場合に実行します。

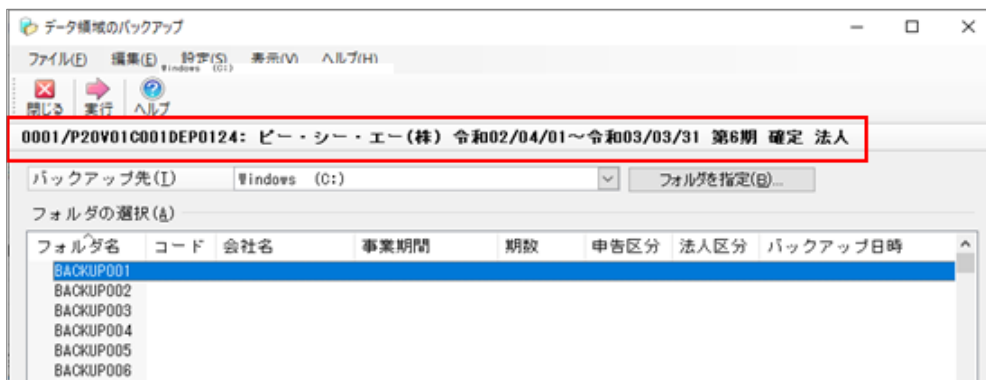
【注意】再更新は何度でも実行できますが、更新元領域（当期）と更新先領域（翌期）で同じコードの資産データは常に更新元のデータで上書きされます。

※新年度における新規登録の資産については、再繰越をしてもクリアされません。

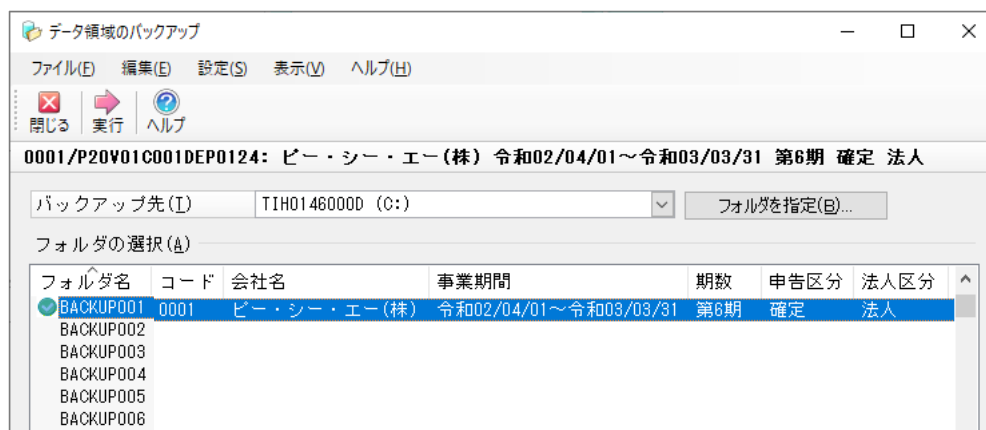
① 作業中のトラブルに備え、「ファイル」－「データ領域のバックアップ」（または「データ領域の一括バックアップ」）にて前年度・新年度のバックアップを実行します。

（例：ピー・シー・エー(株) 第5期、第6期をバックアップを実行します。）

※赤枠内が現在開かれているデータ領域です。



実行し、バックアップが完了すると画面上にバックアップできた領域が表示されます。



- ② メニューの「ファイル」－「データ領域の選択」を選び、前期データ領域を選択して [選択] を押します。

(例：ピー・シー・エー(株) 平成 31/04/01～令和 02/03/31 第 5 期を選択します。)

事業期間	期数	申告区分	法人区分	データベース	バージョン	会社名 (領域別)
平成31/04/01～令和02/03/31	第5期	確定	法人	P20V01C001DEP0123	2.102	ピー・シー・エー(株)
令和02/04/01～令和03/03/31	第6期	確定	法人	P20V01C001DEP0124	2.102	ピー・シー・エー(株)

- ③ メニューの「ファイル」－「期末更新処理 (繰越)」を実行し、[更新先データ領域を選択する (再更新)] を選択し、[領域の選択] ボタンをクリックします。

更新内容(U)

新規データ領域に更新する(新規更新)

更新先データ領域を選択する(再更新)

更新先領域(N)

領域の選択...

更新先申告区分(K)

確定申告

中間申告

オプション(O)

除却・売却資産を繰り越す

リース契約が終了した資産を繰り越す

リース契約を解約した資産を繰り越す

部門の配賦比率が0になる配賦先を繰り越す

- ④ [データ領域の選択] 画面が表示されますので、更新先のが新年度になっている事を確認し、[選択] ボタンをクリックします。

会社コード	会社名	事業期間	期数	申告区分
0001	ビー・シー・エー(株)	令和02/04/01~令和03/03/31	第6期	確定

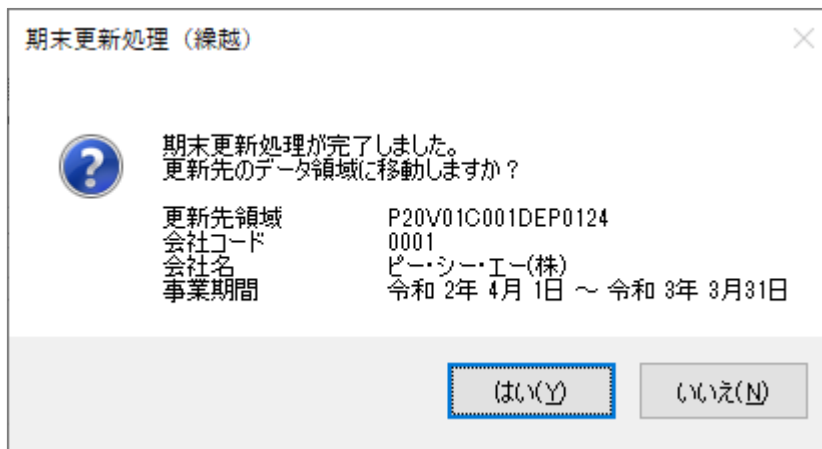
- ⑤ [更新先領域] に④で選択した領域が表示されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

更新内容	再更新 (確定)
更新元情報	P20V01C001DEP0123 0001 ビー・シー・エー(株) 第5期 事業期間 平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
更新先情報	P20V01C001DEP0124 0001 ビー・シー・エー(株) 第6期 事業期間 令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日

上記の内容で更新します。よろしいですか？

⚠ 更新先の会計連動に関するデータは、全て更新元の情報で置き換えられます。
更新先で既に転送済みの仕訳については連動先の会計ソフトで削除してください。

- ⑥ 期末更新処理完了の画面が表示されます。
更新先のデータ領域に移動する場合は、[はい] を選択します。



- ⑦ メニューの「ファイル」－「データ領域の選択」を選び、新年度を選択して [選択] を押し、「台帳・一覧」－「固定資産台帳 (－)」にて償却額等の確認をお願いします。
以上で処理は完了です。(例：ピー・シー・エー(株) 第6期を選択します。)

